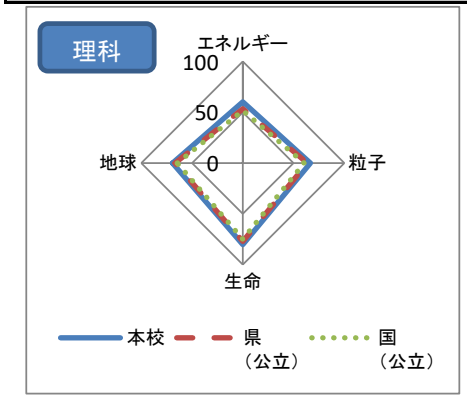
令和4年度全国学力・学習状況調査　指導方法等の改善計画について【理科】

海田東　小学校

本年度正答率（本校69%，県66%，国　63.3%）	本年度の結果について



○全体的な傾向について，すべての領域で，正答率が県平均，全校区平均を上回っている。知識・技能の観点では，県平均と比べて1.7ポイント上回っており，基礎的・基本的な内容については定着ができている児童が多いと考えられる。また，思考・判断・表現の観点でも県平均と比べると，4.6ポイント上回っており，学習した知識を使って，さらに思考を深めることができる児童も多いと考えられる。県平均・全国平均いずれも5ポイント以上上回っている問題は，全体で5問であった。

しかし，問題別にみてみると，県平均・全国平均ともに下回っている問題が，生命の領域で1問，エネルギーの分野で1問，地球の分野で1問の計3問ある。また，県平均のみ下回っている問題は，生命の領域で1問，粒子の領域で2問の計3問となっている。

重点課題	重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）	全校での目標（キャッチフレーズ）
【課題1】 ○設問4(3)の正答率が42.6ポイントで県平均と比べると5．9ポイント低い。誤答で「3」と回答している児童が26.2%いることから，「結果から言えること」の根拠について天気や時間による変化，提示されている結果を分析することに課題があると考えられる。	数値の比較をする学習において，グラフに書く活動を取り入れ，グラフから考察し，分かることをまとめる指導を行う。学年が上がるにつれて，読み取る視点や比較する視点を複数にして考察する指導を行うことで，事象の本質に気付くようにする。また，天気の学習は3年生の「太陽の光を調べよう」で日向と日陰の温度差の学習，4年生の「天気と気温」で一日の気温の変化や天気によって気温が違うことを学習する。その際に，気温が変化する要因について気付くように指導し，知識・技能の定着を図る。	実験→結果→考察→事象の本質を見つけよう！
【課題2】 ○設問3(1)の正答率が26.2ポイントで県平均と比べると2.4ポイント低い。誤答で「2」と回答している児童が52.5%もいることから，鏡に反射した日光は，直進することについての理解に課題があると考えられる。	理科の単元計画を行う時に，実験結果から分かったことを使って楽しく遊ぶ活動や発展的な活動を入れることで，学習内容の定着を図る。	学習内容を生かして遊ぼう！

令和5年度　全国学力・学習状況調査　数値目標
平均正答率が県平均を5%上回る。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月・4月
学年・方法	・**太陽とかげ（3年）グラフ** 実験→結果→考察→事象	・**てこのはたらき（6年）**規則性 実験→結果→考察→事象	・**物の体積と温度（4年）**共通点と相違点，実験→結果→考察→事象 ・**CRT（令和3年度）**	・**物のあたたまり方（4年）**共通点と相違点 ・**物のとけ方（5年）**グラフ 実験→結果→考察→事象	・CRT結果分析 ・課題のある問題実施	水の姿と温度（4年）グラフ ・水溶液の性質とはたらき（6年）共通点と相違点	・ふりこのきまり（5年）規則性 ・5年生全国学力・学習調査（令和3年度）
目標値	75%	75%	75%	75%		75%	75%
実施後数値							

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月・4月
学年・方法	・**大地のつくり（6年）**地層づくり 実験→結果→考察→事象	・**太陽の光を調べよう（3年）**光あてゲーム ・**閉じ込めた空気と水（4年）**空気鉄砲 実験→結果→考察→事象	・**音を出して調べよう（3年）**糸電話 ・**流れる水のはたらき（5年）**災害の備えグッズ 実験→結果→考察→事象 ・**CRT（令和3年度）**	・**物のとけ方（5年）**結晶づくり ・**電気をつくる（6年）**発電を利用したおもちゃ 実験→結果→考察→事象	・**明かりをつけよう（3年）**電気を通すもの発見器 実験→結果→考察→事象	・**じしゃくにつけよう（3年）**魚釣り ・**電流がうみ出す力（5年）**クレーンゲーム 実験→結果→考察→事象	・**つくってあそぼう（3年）** ・5年生全国学力・学習調査（令和3年度）
目標値	75%	75%	75%	75%	75%	75%	75%
実施後数値							